



柔軟なコラボレーションと厳格な IT セキュリティをうまく両立させたパッケージング グループ

エグゼクティブ サマリー

顧客名: Mondri Group

業種: 製造業

所在地: オーストリア

従業員数: 27,500 名

課題

- ・ IT セキュリティを損なうことなく柔軟な業務形態の利点を活かす
- ・ ネットワーク アクセスを要求するデバイスやゲストの増加に対応する

ソリューション

- ・ Cisco TrustSec および Cisco Identity Services Engine

導入の効果

- ・ IT スタッフを増員することなくネットワークの拡大を管理
- ・ セキュリティ ポリシーの監視と適用を向上
- ・ 新たに買収した企業を迅速に統合

課題

製紙/包装業界で成長を続ける Mondri Group International は、30 カ国で事業を展開しており、新興市場の開拓を目指しています。そのために俊敏性に優れたビジネス モデルが必要になったことから、ウィーンに新たに本社を置くことにしました。

インフラストラクチャに加え、モバイルとコラボレーションを促進する業務形態によって、新たに買収した企業とそのさまざまな従来のインフラストラクチャを 2 カ月で統合するという高い目標に弾みをつけたいと考えました。Mondri は、ワイドエリア ネットワーク (WAN) 全体でセキュリティ アーキテクチャを標準化し、世界各地のすべての工場とオフィスで 1 つのベスト プラクティス モデルにまとめることも望んでいました。

ソリューション

Mondri では、シスコのセキュリティ ソリューションを使用して、シスコの有線およびワイヤレス ネットワークを補完することにしました。Mondri Group International のインフラストラクチャ責任者である Roman Scarabot-Mueller 氏は次のように述べています。「Cisco TrustSec は、スイッチ、アクセス ポイント、ファイアウォールとシームレスに統合します。これにより、新しい本社でもそれ以外でも、真のエンドツーエンドのセキュリティ アーキテクチャが実現します」。シスコのファイアウォールなどの製品は、いずれも TrustSec に対応しています。

その他の利点としては、ポリシー ルールを使用したセキュリティ グループ タギングの導入が挙げられます。このアプローチを使用すると、IP アドレスの長いリストからネットワーク セキュリティを解放して、効率がよく安価で運用しやすい、柔軟な自動化モデルに移行できます。

Mondri では、Cisco TrustSec® アーキテクチャが Cisco Identity Services Engine (ISE) で提供される透過性に優れたコンテキスト認識型の管理制御と組み合わせられています。TrustSec アーキテクチャの中心に ISE を据えることで、変化の激しい今日のビジネス環境に対応した適切なレベルのセキュリティを実現できます。

導入の効果

個人所有デバイスの持ち込み (BYOD) 環境を構築することが主要な目的ではありませんが、Mondri では、柔軟な業務形態や効果的なコラボレーションの促進にも力を入れています。また、新しい本社を訪れるゲスト ユーザーも増え続けており、その対応にも迫られています。Scarabot-Mueller 氏は次のように述べています。「シスコ ソリューションを使用すると、ワイヤレス アクセス ポイントからスイッチまで、誰が何にアクセスしようとしているかを正確に把握できます。これにより、ユーザを正しいカテゴリに配置し、情報セキュリティの需要に一致する適切なポリシーを適用することができます」。



「シスコソリューションを使用すると、ワイヤレスアクセスポイントからスイッチまで、誰が何にアクセスしようとしているかを非常に正確に把握できます。これにより、ユーザを正しいカテゴリに配置し、情報セキュリティの需要に一致する適切なポリシーを適用することができます」

Roman Scarabot-Mueller 氏
インフラストラクチャ責任者
Mondi Group International

デバイスの数は、現在、従業員 1 人に対して 2.3 台の割合です。本社のネットワークに接続された 1,300 台のデバイスのうち、会社所有の管理下にあるデバイス以外が約半数を占めています。ゲストのタイプに応じて必要なアクセス権限も異なります。「ポリシーを効果的に運用するには、デバイスタイプ、ユーザ、ロケーション、コンテキストをすべてリアルタイムで特定することが不可欠です」と Scarabot-Mueller 氏は述べています。

Cisco TrustSec のもう 1 つの利点は、複数のサービス セット識別子や仮想ローカルエリア ネットワークを管理する必要がなくなり、監視と適用がシンプルになることです。世界 100 か所の Mondy の施設にこのソリューションを導入していくにつれ、累積的な削減効果が期待できます。

Scarabot-Mueller 氏は最後に次のように述べています。「TrustSec を選んだのは、当社のグローバル ネットワークを構築するために必要なすべての機能が揃っていたからです。これと同じアプローチを WAN 経由で他の拠点にも導入することで、可視性が高まるかに向上し、管理作業も少なくなります。また、新規開拓に向けた市場投入までの時間の短縮にも役立ちます」。

関連情報

この事例で説明したシスコのソリューションの詳細については、次を参照してください。

www.cisco.com/jp/go/trustsec

製品リスト

セキュリティ

- Cisco TrustSec
- Cisco Identity Services Engine
- Cisco SNS 3495 シリーズ アプライアンス
- Cisco AnyConnect® セキュア モビリティ クライアント
- Cisco ASA 5585-X 次世代ファイアウォール

ルーティング/スイッチング

- Cisco ASR 1002-X ルータ
- Cisco Catalyst® 4500-E および 6509-E シリーズ スイッチ
- Cisco Nexus® 1000V シリーズ スイッチ

ワイヤレス

- Cisco Aironet® 3602 アクセス ポイント
- Cisco 5760 ワイヤレス LAN コントローラ

管理

- Cisco Prime™ Infrastructure

©2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2015年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先